



コンサルティングエンジニア連盟のみなさまへ

参議院議員 足立敏之

コンサルティングエンジニア連盟の皆様には、日頃から大変お世話になっておりまして、心から感謝を申し上げます。

今年は寅(とら)年で、2022年の干支は、「壬寅(みずのえとら)」となり、厳しい冬を終えて、春の芽吹きが生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるといわれています。すなわち、新しい成長の年になることが期待されるのです。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、大変厳しい生活を強いられましたが、最近は、新規感染者数も減少し、落ち着きを取り戻してまいりました。新たな変異株の脅威はありますが、これからは着実に経済が回復していくことを期待したいと思います。

一方、昨年は8月以降の前線による記録的長雨により、西日本や北日本にかけて広範囲にわたり大規模な被害が発生しました。水害・土砂災害による生活道路の寸断等でご苦労されている方々も多数いらっしゃいました。

これも、地球温暖化の影響に伴う気候変動によるものと考えられ、事前防災や国土強靱化、さらには老朽化対策など、災害に強い国土づくりが強く求められています。

さて、岸田文雄内閣総理大臣が誕生し、新たな内閣のもと、令和3年度補正予算が12月に成立しました。防災・減災、国土強靱化は引き続き大きな柱の一つとなっており、約2兆円の公共事業予算が確保されています。この補正予算が起爆剤となり、春の芽吹きが感じられる明るい年になることを期待したいと思います。

また、公共事業を着実に進めていくためには、建設産業の環境整備が不可欠であります。設計調査業務についても品確法に位置づけ、適正な予定価格・工期の設定、技術者単価のアップ、発注の平準化、働き方改革の推進などの「質の確保」が「量の確保」とともに重要です。こうした課題の解決に向け、令和4年度も引き続き全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、コンサルティング連盟の皆様におかれましては、インフラ整備について引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。